



イノチオみらい株式会社

愛知県豊橋市のイノチオみらい(株)は、国際基準に沿った「持続可能な農業モデルの実現」を目指します。

生産から販売までトータルでのCO₂排出量の削減

CN取組の内容

- **中長期CO₂削減目標を策定**
 - ・化石燃料(重油)使用量の3割以上削減。
 - ・トマト1kgあたりの生産で発生するCO₂排出量を2kg以下に削減。
- **2025年までに出荷資材を環境配慮資材に切り替え**
 - ・植物由来の生分解性プラスチックを全てのプラスチック製フードパックに採用し、CO₂排出量9.6t(控除量34.9t)削減(2020年比)。
 - ・出荷用段ボールはFSC認証(※1)の資材を採用し環境保全に貢献。
- **グローバルGAP認証(※2)を取得**
 - ・2017年から食品安全、労働環境、環境保全を軸とした国際的な適正農業生産工程管理(グローバルGAP)認証を取得。
 - ・2021年度グローバルGAPの審査では是正ゼロ。

ここがポイント



未利用資源の活用と生産技術の確立で化石燃料使用量を削減

隣接する下水処理場の放流水から得られる熱を生産施設の加温に利用し、空調コストを削減。また施肥量の削減と生産量の維持を両立する温度管理と生産技術を確立し、夏越え作型も達成。その結果、重油使用量を2016年度比で46%削減に成功し、トマト1kgあたりの生産で発生するCO₂排出量を2021年度に1.94kg/kg(2017年度3.84kg/kg)まで削減。



地産地消で輸送による排出量削減

1年を通じて中部圏の取引先に地産地消の提供を実現。自社の出荷物流排出量だけではなく、取引先の調達物流の排出量削減にも貢献。



食品ロスをゼロにする

落下などで出荷できないミニトマトは、地元動物園に餌として寄付するほか、他社と連携しドライ粉末に加工するなどフードロスを削減。

※1) FSC認証…第三者認証期間による審査で環境、社会、経済の便益に適切、きちんと管理された森林から作られたことが認められた製品。
※2) グローバルGAP…食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続可能な生産活動」を実践する優良企業に与えられる世界共通ブランド。